

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：株式会社坂根牧場
- 2 事業実施期間：令和2年度
- 3 補助額（事業費）：15,108,000円（33,699,600円）

4 事業内容

フレッシュタイプ(モッツアレラ、ストリング、カチョカバロ)に加え、放牧牛乳を活かした熟成タイプ（日本人好みのモチモチセミハード）を製造。アニマルウェルフェア、放牧認証牧場、ブラック&ホワイトショー、ファーマーズマーケットといった毎年出店しているイベントで積極的に販売するとともに、EC分野では、食べチョコや、ポケットマルシェといった生産者と消費者が直接繋がるサービスを使って、当社チーズを牧場のストーリーとともに届ける。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・年間製造量		年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)		年間販売額 (千円)		備考
		フレッシュ	セミハード			(%)		(%)	
現況値 (2年度)	0.04t/日	フレッシュ 0.4t		1,536	3,840	( - )	1,448	( - )	
目標値 (5年度)	0.3t/日	フレッシュ 0.3t	セミハード 2.7t	8,900	2,966	(77%)	14,742	(1,018%)	
実績 (5年度)	0.033t/日	フレッシュ 0.018t	セミハード 0.006t	346	14,417	(375%)	1,273	(88%)	
実績 (6年度)	0.033t/日	フレッシュ 0.184t	セミハード 0.004t	500	2,660	(69%)	1,344	(93%)	

注：( )には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コストは目標に達したものの、年間販売額は目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和7年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：チーズ工房1103
- 2 事業実施期間：令和2年度
- 3 補助額（事業費）：3,017,649円（6,638,829円）

4 事業内容

日高の特産品を使用した製品を作り「チーズ工房1103のチーズ」「北海道日高町の知名度アップ」「倶里夢牧場の生乳のブランド化」この3つの輪を創り上げ、良質な地場産チーズの需要拡大を目指し、地域の酪農振興にも寄与する。

5 成果目標の達成状況

現況値 (〇年度)	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・年間製造量						年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)	年間販売額 (千円)	備考
目標値 (5年度)	82.5kg/日	モッツアレラ	ストリング (プレーン味)	ストリング (昆布)	ストリング (味噌)	カマンベール チーズ	セミハード チーズ	5,605	2,997.33 ( )	10,622 ( )	
		156kg	374kg	374kg	84kg	466kg	416kg				
実績 (5年度)	55.9kg/日	モッツアレラ	ストリング (プレーン味)	ストリング (昆布)	ストリング (味噌)	カマンベール チーズ	セミハード (カチヨカパロ)	1,541	1,638 ( )	5,913 ( )	
		67.3kg	333.3kg	188.2kg	65.5kg	227.2kg	95.5kg				
実績 (6年度)	59.1kg/日	モッツアレラ	ストリング (プレーン味)	ストリング (昆布)	ストリング (味噌)	カマンベール チーズ	セミハード (カチヨカパロ)	2,438	2,275 ( )	7,239 ( )	
		72.1kg	361.7kg	220.8kg	67.2kg	253.7kg	96.1kg				

6 農政局長等の総合所見

製造コストは目標に達したものの、年間販売額は目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和7年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第 5 号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：株式会社宇野牧場
- 2 事業実施期間：令和 2 年度～令和 3 年度
- 3 補助額（事業費）：43,350,000（95,370,000円）

4 事業内容

今まで、着手していなかったチーズ製造にも手がけることで、有機認証牛乳の全量加工に取り組むとともに、国内では本格的に事業化することがほとんどなかった有機認証チーズを当社事業のひとつの柱として、乳製品群の製造販売を行っていくこととした。

- ・チーズの製造に当たっては、当社牧場内に新たにチーズ工房を建設する。工房は、製造100㎡、付帯設備を入れ158.89㎡として計画している。生産量は、年27トンの製造を行う。加えて、プレート殺菌機、チーズバット等（機械設備の内容）を導入することによって、有機認証チーズの製造を行う。
- ・チーズの開発・製造に当たっては、天塩町、天塩商工会をはじめ、行政機関、支援機関から助言を受けているとともに、チーズ製造ノウハウを保有している興部町の有限会社アドナイからアドバイスを受けることとなっており、工房の建設、機械設備の整備、製法の確立の準備を進めているところである。
- ・チーズ製造にあたっては、有限会社アドナイにてチーズ製造の工房長を務めていた技術者を工場長として招聘し、チーズ製造及び生産管理を担当するとともに、当社への製造工程定着を図っていく。
- ・乳加工品についても、好調に売上を伸ばしていることから、有機認証チーズを含む乳製品群の加工品についても今までの販路を活用しつつ、当社の事業の柱として伸ばしていきたい。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・年間製造量		年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)			年間販売額 (千円)		備考
現況値 ( )	0t/日					( - )		( - )		
目標値 (R5年度)	0.43トン/日	カチョコカバロ	ハード系他	21,792	1,362	( )	90,800	( )		
		7トン	9トン							
実績 (R5年度)	0.19トン/日	ハード系		2,624	374	( )	0	( )		
		7トン								
実績 (R6年度)	0.016 トン/日	ハード系	モッツアレラ	1,380	2,300	( )	6,000	( )		
		0.5トン	0.1トン							

注：( ) には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コスト、年間販売額ともに目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和7年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：有限会社 竹下牧場
- 2 事業実施期間：平成29年度 ～ 平成30年度
- 3 補助額（事業費）：19,648,500円（42,660,000円）

4 事業内容

新たにチーズ工房を建築し、平成30年度より製造を開始する。製品は店舗・飲食店に販売をするほかに、牧場来場者への販売、牧場アクティビティに利用する。また（株）山川が管理運営するゲストハウス『USHIYADO』と連携した農泊ビジネス（農商工連携事業 通巻番号1-29-078）における宿泊者への地元農産物を利用した飲食の提供・お土産品の販売にも活用する。これらの事業を行うことにより、酪農の価値と魅力、北海道中標津のよさをアピールしていく。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (kg/日)	製造品目・ 年間製造量			年間製造経 費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)		年間販売額 (千円)		備考
現況値 (H30年1月)	0				0	0	( )	0	( )	
目標値 (R2年度)	82	コンテ	ラクレット	パスタファイラー	7,046	2,610	( )	11,880	( )	
		900kg	900kg	900kg						
実績 (R2年度)	41	マリポー	パスタファイラー	リコッタ	3,710	2,487	( )	3,984	( )	
		820kg	600kg	72kg						
実績 (R3年度)	35	マリポー	パスタファイラー	リコッタ	3,087	2,563	( )	5,082	( )	
		540kg	600kg	64kg						
実績 (R4年度)	35	マリポー	パスタファイラー	リコッタ	3,420	2,720	( )	4,893	( )	
		634kg	515kg	108kg						
実績 (R5年度)	41	マリポー	パスタファイラー	リコッタ	3,826	2,555	( )	6,653	( )	
		798kg	572kg	127kg						
実績 (R6年度)	39	マリポー	パスタファイラー	リコッタ	4,278	3,027	( )	6,022	( )	
		738kg	538kg	137kg						

注：( ) には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コスト、年間販売額ともに目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和7年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：有限会社あすなろファーム
- 2 事業実施期間：平成29年度 ～ 平成30年度
- 3 補助額（事業費）：22,717,246円（50,328,000円）

4 事業内容

有限会社あすなろファーム(以下、「当社」という。)は、十勝酪農地帯(清水町)において、土、草、牛の自然な好循環にこだわった生乳を原材料として、25年以上にわたり、牛乳、ヨーグルト、バター等を製造加工・販売してきた。チーズについては、当社ではチーズ製造施設を持たないことから、バイヤー等からの品揃えに係る要請(当社ブランドによるチーズ販売)に応える形で、他工房で製造したナチュラルチーズを仕入・販売してきた。しかしながら、今後の国際化の進展等を考慮すると、チーズについても、生産性や品質の向上を図りつつ、真に競争力のある製品を、当社で効率的に製造加工していく必要があると考えている。そのため、原料の生乳生産については、引き続き、十勝の大自然を活かしたこだわりの良質の生乳を生産するとともに、生乳生産牧場の当社で効率的に製造加工していくため、生乳生産牧場の近傍にチーズ製造加工施設を整備し、(一財)蔵王酪農センター、先進チーズ工房等の高水準の技術を導入しつつ、生産性が高く競争力のある当社ブランドの多様なナチュラルチーズを製造・販売し、消費者にこだわりの高品質チーズを提供することにより、次の事項を達成することを目的とする。

(1) 十勝の大自然の恵みを活かしたサステナブルな酪農、乳製品加工の定着 (2) 顧客、地域住民、来訪者等に対する正しい食知識の普及と国産牛乳乳製品の消費拡大 (3) チーズ製造加工施設を核とした地域の観光拠点の創設

なお、本事業を実施することにより、輸入品に対抗できる競争力のある乳製品の製造が実現するのみならず、国内チーズ工房との切磋琢磨等を通じて、国内の牛乳乳製品製造全体の合理化、効率化に寄与できるものと考えている。

5 成果目標の達成状況

現況値 (〇年度)	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・年間製造量				年間製造経費	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)	年間販売額 (千円)	備考	
		(例)白カビ 〇〇トン								
目標値 (令和2年度)	0.3	フレッシュ	カチヨカバロ	ラクレット	長期熟成	10,945	1,312	( )	44,254	
		1433.85kg	1433.85kg	2737.35kg	2737.35kg					
実績 (令和3年度)	0.2	フレッシュ	カチヨカバロ	ラクレット	長期熟成(ゴータタイプ)	2,222	2,556	( )	4,445	
		0	0	535.9kg	333.9kg					
実績 (令和4年度)	0.2	フレッシュ	カチヨカバロ	ラクレット系	長期熟成(ゴータタイプ)	2,536	2,469	( )	5,230	
		0	0	613.5kg	413.6kg					
実績 (令和5年度)	0.2	フレッシュ	カチヨカバロ	ラクレット系	長期熟成(ゴータタイプ)	2,552	2,478	( )	5,350	
		0	0	620.3kg	412.5kg					
実績 (令和6年度)	0.2	フレッシュ	カチヨカバロ	ラクレット系	長期熟成(ゴータ・ハード)	2,583	2,437	( )	5,500	
		0	0	630.5kg	430.3kg					

6 農政局長等の総合所見

注：( )には対現況値比を記入すること

製造コスト、年間販売額ともに目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和7年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：ニセコチーズ工房有限会社
- 2 事業実施期間：平成30年度 ～ 令和元年度
- 3 補助額（事業費）：51,900,000円（132,000,000円）

4 事業内容

チーズ工房を新築。約82㎡だった工房を約306㎡へ拡大、熟成庫も約3倍に拡大し熟成管理の精度もアップさせ、生産量を年11.2トンから14.3トンへ増産した。加えて、2<sup>トン</sup>チーズバットと大型圧搾機を導入して増産体制を強化し、チーズバットの自動攪拌機の導入と真空包装機の大型化によりローコストオペレーションを実現した。更に、ブラックアウトなどの不測の事態に対応するための自家発電装置や金属探知機の導入により危機管理体制も整備して、安心・安全な製造設備とした。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・年間製造量					年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)		年間販売額 (千円)		備考
		ハード①	ハード②	ブルー	モzzarella	その他ソフト						
現況値 (H30年度)	0.239	3.4 <sup>トン</sup>	3.7 <sup>トン</sup>	1.9 <sup>トン</sup>	0.4 <sup>トン</sup>	1.8 <sup>トン</sup>	27,437	2,449	-	56,626	-	
目標値 (令和3年度)	0.457	4.0 <sup>トン</sup>	7.0 <sup>トン</sup>	5.0 <sup>トン</sup>	0.4 <sup>トン</sup>	3.6 <sup>トン</sup>	42,750	2,138	(87.3%)	100,000	(176.6%)	
実績 (令和3年度)	0.349	4.0 <sup>トン</sup>	5.0 <sup>トン</sup>	3.0 <sup>トン</sup>	0.3 <sup>トン</sup>	2.0 <sup>トン</sup>	49,174	3,521	(143.8%)	87,901	(155.2%)	
実績 (令和4年度)	0.432	4.1	6.2	4.0	0.4	3.0	52,738	2,996	(122.3%)	100,004	(176.6%)	
実績 (令和5年度)	0.325	4.0 <sup>トン</sup>	4.5 <sup>トン</sup>	4.0 <sup>トン</sup>	0.4 <sup>トン</sup>	2.0 <sup>トン</sup>	54,533	3,661	(149.5%)	125,800	(222.2%)	
実績 (令和6年度)	0.310	3.8 <sup>トン</sup>	4.3 <sup>トン</sup>	3.8 <sup>トン</sup>	0.4 <sup>トン</sup>	2.0 <sup>トン</sup>	37,041	2,590	(105.8%)	102,285	(180.6%)	

6 農政局長等の総合所見

注：（ ）には対現況値比を記入すること

年間販売額は目標に達したものの、製造コストは目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和7年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：東円牧場株式会社
- 2 事業実施期間：平成30年度 ～ 令和元年度
- 3 補助額（事業費）：65,683,500円（160,315,650円）

4 事業内容

フランス原産のノルマンディー種の乳を利用して、ノルマンディー地方の特産品である白カビチーズを生産します。そのために必要なチーズ工房建屋またチーズ製造機器(チーズバット、熟成室、冷蔵室、冷凍庫、蒸気ボイラー等)を新規に導入し、国内産本格白カビチーズとして高付加価値な製品の製造・販売を行います。同時に、白カビチーズのブランド化を推進し、国内競争力を高めて参ります。また、北海道浜中町にフランスノルマンディーのテロワールを重ね合わせることで、浜中町の新たな特産品を生み出し、地域活性化の一翼を担って参ります。  
 チーズ製造に関しては、タカナシ乳業株式会社より技術者に出向いただき、生産・指導を行っていただきます。また、販売方法に関してはタカナシ乳業株式会社を通して流通いたします。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・ 年間製造量	年間製造経費 (千円)	年間製造経費 (千円)		年間販売額 (千円)		備考
				年間製造経費 (千円)	/年間製造量 (トン)	年間販売額 (千円)		
現況値 (令和元年度)	0		0	0	-	0	-	
目標値 (令和3年度)	0.197	白カビ	29,089	3,402	( )	44,870	( )	
		8.55トン						
実績 (令和3年度)	0.032	白カビ	23,224	22,657	( )	9,620	( )	
		1.025トン						
実績 (令和4年度)	0.052	白カビ	30,353	19,470	( )	31,538	( )	
		1.559トン						
実績 (令和5年度)	0.054	白カビ	25,856	13,138	( )	30,712	( )	
		1.968トン						
実績 (令和6年度)	0.048	白カビ	26,428	13,260	( )	27,187	( )	
		1.993トン						

注：( )には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コスト及び年間販売額ともに目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和7年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：株式会社広内エゾリスの谷チーズ社
- 2 事業実施期間：平成30年度 ～ 令和元年度
- 3 補助額（事業費）：49,932,918円（120,016,000円）
- 4 事業内容

広内エゾリスの谷チーズ社チーズ工房  
建物及びチーズパット（600L）等チーズ製造設備

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・ 年間製造量					年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)		年間販売額 (千円)		備考
		ラクレット	白カビ	フレッシュ	グリュイエール	ルプロッション						
現況値 (令和1年度)	0	ラクレット 0.0トン	白カビ 0.0トン	フレッシュ 0.0トン	グリュイエール 0.0トン	ルプロッション 0.0トン	0	0	-	738	-	
成果目標 (令和3年度) 2021	0.33	ラクレット 6.4トン	白カビ 5.9トン	フレッシュ 1.2トン	グリュイエール 0.4トン	ルプロッション 0.3トン	27,971	1,970	( )	46,382	-	令和2年2月竣工
実績 (令和3年度) 2021	0.4	ラクレット 1.0トン	白カビ 6.1トン	フレッシュ 1.7トン	グリュイエール 0.0トン	ルプロッション 0.0トン	13,440	1,525	( )	28,329	-	
実績 (令和4年度) 2022	0.49	ラクレット 1.0トン	白カビ 7.6トン	フレッシュ 1.6トン	グリュイエール 0.2トン	ルプロッション 0.0トン	17,713	1,693	( )	38,385	-	
実績 (令和5年度) 2023	0.41	ラクレット 0.9トン	白カビ 7.8トン	フレッシュ 1.9トン	グリュイエール 0.2トン	ルプロッション 0.0トン	19,804	1,830	( )	45,275	-	
実績 (令和6年度) 2024	0.41	ラクレット 1.1トン	白カビ 8.5トン	フレッシュ 1.9トン	グリュイエール 0.2トン	ルプロッション 0.0トン	20,827	1,799	( )	43,753	-	

注：( ) には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コストは目標に達したものの、年間販売額は目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和7年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：きまぐれ牧場
- 2 事業実施期間：令和2年度
- 3 補助額（事業費）：3,967,387円（8,728,254円）

4 事業内容

上砂川町の特産品の一つとしてふるさと納税にも組み込まれたウォッシュチーズを製造。またそのうちの1つは隣町新十津川町の日本酒を使うことで、近隣の町浦臼町と3町コラボのふるさと納税も開始。工場の横にパン工房兼直売所を設置し、ホエイを使用したパンのほか、ウォッシュチーズ、モッツアレラ、酸凝固、ストリングチーズ、フロマージュブランなどを販売。オンラインショップでも販売している。他会社のECサイトでチーズの販売も行う他、レストランなどで使用されたりもする。メディアへ出演し、広報活動も行うほか、SNSを活用し、お客さんに作り手の顔や製造の様子を伝えている。

5 成果目標の達成状況

現況値 (〇年度)	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・年間製造量			年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)		年間販売額 (千円)		備考
		(例) 白カビ 〇〇トン				( )	( )	( )	( )	
目標値 (22年度)	0.04166	クリームチーズ	酸凝固	モッツアレラ	3850	3,850	( )	6,000	( )	
	0.2	0.4	0.4							
実績 (22年度)	0.0129	ウォッシュチーズ	酸凝固	モッツアレラ	3563	11,457	( )	4,678	( )	
	0.2728	0.0032	0.035							
実績 (23年度)	0.01551	ウォッシュチーズ	酸凝固	モッツアレラ	4634	13,958	( )	5,866	( )	
	0.256	0.026	0.05							
実績 (24年度)	0.01166	ウォッシュチーズ	酸凝固	モッツアレラ	3657	13,061	( )	6,594	( )	
	0.233	0.012	0.035							

注：( )には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

年間販売額は目標に達したものの、製造コストは目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和7年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。